

【参考】

◎ビブリオバトル（知的書評合戦）とは

- ・ 名称・公式ルール管理団体
ビブリオバトル普及委員会

ビブリオバトル普及委員会は、知的書評合戦ビブリオバトルをより広く普及させることを通して、世の中のコミュニケーションや知識共有、人々のつながりを活性化させることを目的として活動する任意団体です。立命館大学情報理工学部准教授の谷口忠大氏を理事として2010年に設立されました。全国各地で開催されるビブリオバトルの情報を公式HPから発信しているほか、地域ごとの普及委員がイベントの企画・運営に携わっています。

なお、BIBLIOBATTLEは登録第5415288号により商標登録されており、その一切の管理はビブリオバトル普及委員会によって行われています。

- ・ ビブリオバトル公式ウェブサイト：<http://www.bibliobattle.jp/home>

- ・ 概要

ビブリオバトルは誰でも（小学生から大人まで）開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をキャッチコピーに日本全国に広がっています。大学のゼミ室から始まった活動ですが、現在は小中高校、大学、一般企業の研修・勉強会、図書館、書店、サークル、カフェ、家族の団欒などで広く活用されています。

◎公式ルール

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

【公式ルールの詳細】

- 1について
 - a 他人が推薦したものでかまわないが、必ず発表者自身が選ぶこと
 - b それぞれの開催でテーマを設定することは問題ない
- 2について
 - a 5分が過ぎた時点でタイムアップとし発表を終了する
 - b 原則レジュメやプレゼン資料の配布等はせず、できるだけライブ感をもって発表する
 - c 発表者は必ず5分間を使い切る
- 3について
 - a 発表内容の揚げ足をとったり批判するようなことはせず、発表内容で分からなかった点の追加説明や、「どの本が一番読みたくなったか？」の判断を後でするための材料を聞く
 - b 全参加者がその場が楽しい場となるように配慮する
 - c 質問応答が途中の場合などに関しては、ディスカッションの時間を多少延長しても構わないが、当初の制限時間を大幅に超えないように運営すること
- 4について
 - a 紳士協定として、自分の紹介した本には投票せず、紹介者も他の発表者の本に投票する
 - b チャンプ本は参加者全員の投票で民主的な投票で決定され、教員や司会者、審査員といった少数権力者により決定されてはならない

※参加者は発表参加者、聴講参加者よりなる。全参加者という場合にはこれらすべてを指す。

◎会津図書館ルール

会津図書館所蔵の本に限定しないが、マンガ・雑誌は不可とする。